



校長先生のサクソフォン沼

中学時代にサクソフォンという楽器に出逢った。
この楽器は1845年にパリ万博博覧会で特許をとった、
唯一発明された楽器である。
製作者はベルギーのアドルフ＝サククス氏であるからサ
クソフォンという楽器名になった。
発明されてから今年で177年目を迎えた。
フランスでデビューしたが、知名度が低く、忘れられて
いった。
楽器だけがアメリカに輸出され、ジャズの世界で使われ
るようになった。
フランスツアーに行ったジャズバンドが演奏するこの楽
器にフランスの音楽家たちが驚いた。
それ以来、フランスのクラシック作曲家がこの楽器のた
めの作品を作曲するようになった。
最初はベルリオーズ、ビゼー、ラベルなどがオーケスト
ラ作品で使うようになった。
この楽器は音色が多彩で発音方法やフィンガーリングに
よって幅広い表現が可能である。
この楽器で音楽を表現する可能性は無限である。
この楽器と付き合い45年目を迎えた。
今でもご機嫌を伺いながら、付き合っている。
私にとって一生涯の大切な相方である。